

第 2 回京都市産業廃棄物 3 R 推進会議（施設見学）について（実施報告）

1 日時

平成 30 年 2 月 8 日（木） 12 時 15 分から 17 時 30 分まで

2 見学の流れ

- (1) JESCO 大阪の職員が施設の概要について説明。
- (2) JESCO 大阪や PCB 廃棄物について説明した DVD 映像を視聴。
- (3) JESCO 大阪の職員の案内のもと、処理設備・作業工程を安全に見学するために設けられた見学ルートに沿って施設見学。

なお、施設内には情報公開ルームが設置されており、見学ルート以外でも、PCB 処理に関する情報を自由に閲覧することができる。

また、廊下の各所に PCB 処理に関するパネル等が掲示されており、様々な情報を得ることができる。

3 見学内容

(1) 大阪 PCB 廃棄物処理事業の概要

ア 処理能力

2 トン/日（PCB 分解量）

イ 処理対象物

- (1) 高圧トランス・コンデンサ等
- (2) 安定器等・汚染物（PCB を使用した低圧トランス及び低圧コンデンサのうち小型のもの、安定器その他これらと同程度の小型の電気機器が廃棄物となったもの、感圧複写紙、ウエス、汚泥等の PCB 汚染物。ただし、大阪で処理しているのは、小型電気機器の一部に限る。）

ウ 処理対象区域

京都府，滋賀県，大阪府，兵庫県，奈良県，和歌山県

（他の地域については，車載トランスの一部，特殊コンデンサの一部のみ）

(2) 大阪 PCB 廃棄物処理施設の概要

ア 処理施設

大阪 PCB 廃棄物処理施設は，西棟・東棟の 2 棟からなっている。各棟の主な設備は次のとおり。

- (1) 西棟
トランス・コンデンサ等の電気機器の PCB 洗浄・分離処理設備
- (2) 東棟
PCB 分解処理設備

イ 処理工程

各棟において行われる主な処理は次のとおり。

なお、施設で処理された処理済物は、鉄、銅、アルミ、塩酸、ビフェニル類等に分別されて、原則リサイクルされている。

(7) 西棟

トランスやコンデンサなどを「真空加熱分離法（密閉・真空下で加熱することにより、処理対象物の PCB を分離し、その後、冷油を用いて分離 PCB を回収する方法）」、「溶剤洗浄法」により PCB を取り除く。

(8) 東棟

西棟で抜き取られ、回収された PCB を「触媒水素化脱塩素化分解法」を用いて分解処理を行い、無害化する。

(3) 大阪 PCB 廃棄物処理施設の安全管理対策

安全対策設備として、「排気漏洩対策設備」、「漏洩防止対策設備」、「緊急時対策設備」が設けられており、また、これらの安全対策設備を常時モニタリング・監視する管理設備が設けられている。

ア 排気漏洩対策

集められた排気は、排気処理装置でクリーンにしたのち、更に、活性炭吸着装置で処理されて排出される。

イ 漏洩防止対策

PCB が漏れ出ないように、取扱場所や処理機器類の下にはオイルパン（油受けの皿）が設けられている。建物の床面には耐久性のある樹脂が塗布されており、PCB 油が漏洩しても、床面への浸透は防止される。

ウ 緊急時対策

感震装置が地震を感知した場合、設備は自動停止するようになっている。